

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜7)に答えよ。

ロマン主義時代に生きたジョン・キーツの「Aネガティヴ・ケイパビリティ」という概念は、共感力をもつ自己像を表しているといえる。「ケイパビリティ」とは、何かを達成する、あるいは何かを探究して結論に至ることのできる力を意味する。しかし、キーツのこの概念は、知性や論理的思考によって問題を解決してしまう、解決したと思うことではない。そういう状態に心を導くことをあえて留保することをさす。「ネガティヴ・ケイパビリティ」とは、相手の気持ちや感情に寄り添いながらも、分かった気にならない「宙ぶり」の状態、つまり不確かさや疑いのなかにいられる能力である。

「人はどのようにして、他の人の内なる体験に接近し始められるだろうか」という問いに言及したのは、作家で精神科医の帚木蓬生である。

共感を持った(A)タンサクをするには、探求者が結論を棚上げする創造的な能力を持つていなければならない。(中略)体験の核心に迫ろうとするキーツの探求は、想像を通じて共感に至る道を照らしてくれる。

キーツのネガティヴ・ケイパビリティにとって、想像力は他者との共感に至る道筋である。そして、このような(ケア)の営為には、あえて留保する力が必要である。帚木によれば、ヒトの脳には、「分かつ」とする生物としての方向性が備わって」いる。

さまざまな社会的状況や自然現象、病気や苦悩に、私たちがいろいろな意味づけをして「理解」し、「分かった」つもりになろうとするのも、そうした脳の傾向が下地になっています。(帚木蓬生『ネガティヴ・ケイパビリティ』、八頁)

この一文はじつに(イ)シサ的である。他者の言葉を聴こう、他者の気持ちを理解しようとすることは忍耐力が必要であるという点で、文学の営為にも通じる。物語を創作すること、あるいは読むことは、誰かの経験に裏打ちされた想像世界に向き合い、じっくり考えて耐え抜くプロセスでもある。

(中略)

一八世紀の医学言説でもっとも支配的だったのは神経学だが、キーツはそのなかでもとくにデヴィッド・ハートリーの観念連合理論に影響を受けていた。この理論の「振動説」は、脳内で熱と動脈や神経の鼓動によって絶え間ない振動が生じることから説明される。ハートリーの理論は、身体の生理学および心的事象の密接な繋がりを研究する現代の心理学への(ウ)タンショを開いた。また、神経生理学や神経学と現在呼ばれるものの

創始者ロバート・ウィットは、神経器官の末端で感じとる感覚印象が脳に伝えられるという神経システムの「共感原理」が主要な役割を果たすと主張した。

一八世紀に医学生としてトレーニングを受けたキーツにとって、このような「共感原理」こそが彼の詩的言語の源泉であった。彼は一九世紀初頭、最も知名度の高かった解剖学者、病理学者であったアストリー・クーパーに師事した。神経が過敏な精神状態であるときには他者が感じている感覚や思考を経験することができるというクーパーの共感原理も、おそらくキーツのネガティブ・ケイパビリティの概念を形成する素地になっただろう。キーツの物語詩『イザベラ』は、恋人ロレンゾを兄に殺害されたヒロインの悲痛さを描いている。貧しい男との結婚を阻止するためのロレンゾ殺害からは、兄がいかに経済的な価値を重視しているかがわかる。対して愛の価値を重視するイザベラは、ロレンゾの苦痛に思いを馳せながら、埋められていた彼の頭をバジルの鉢に植え、その植物を育てる。そのバジルが青々と繁るのは、イザベラが流す涙のためである。キーツが用いる「脳」や「精気」という言葉は当時の医学言説で多用されていた。外的世界と内的世界が神経器官で繋がっているのは、脳と神経の末端とのあいだを行きかう「精気」の運動のおかげであると考えられていた。このような自己像は、つねに多孔的で、かつ他者に開かれたものである。

他者に開かれたスピリチュアルな自己こそ、世俗の時代に求められる自己像であると論じているのは、カナダの宗教社会学者チャールズ・テイラーである。先述した近代社会におけるリベラルな思想のもとで長いこと評価されてきたのは「緩衝材に覆われた自己」で、啓蒙期以降の多孔質でない「自立した個」の比喻としても用いられている。他方、「B多孔的な自己」は、より緩やかな輪郭をもつ、近代では(エ)キハクになりつつある存在で、他者の内面に入り込むほどの想像力を有する自己像である。自他二元論が支配するような世界から一度切り離してみても、内的世界と外的世界とを行き来するようなスピリチュアルで他者への想像力が及ぶ自己について考えてみる価値はあるだろう。

テイラーによれば、近代社会における自己を語る際に参考になるのが、(C)を壁に覆われたような閉じられた「個」と、壁のない(壁があったとしても穴があいている)「多孔的な自己」という二つの対照的なイメージである。

『ジェイン・エア』はフェミニズム研究の分析対象となってきたが、その理由の一つには、「自律／自立したヒロイン」、すなわち強い「個」の魅力があつたにちがいない。『ジェイン・エア』の批評史は「ケアの倫理」が看過される典型例としても参照できる。自立した強い女性として高く評価されてきたジェイン像を定着させた代表的なフェミニズム研究は、サンドラ・ギルバートとスーザン・グーバーによる『屋根裏の狂女』(1979)であろう。彼女たちは、小説の結末でジェインが結婚して家庭に入ることは、彼女が遺産を相続するだけでなく火事で視力を失ったロチェスターが格下げされることで、いわば許容される物語になると解釈している。多方面からの解釈が可能なはずなのに、どうしても「自律／自立したヒロイン」というイメージが一人歩きしてしまうのが、この小説の批評の特徴である。

この作品の評価が時代によって変化してきたことを再考する必要があると言ったのは、フェミニズム批評家のコラ・カプランである。彼女は、一九七〇年代以前の女性像を踏まえて、ジェイン・エアの強烈な「個」という価値がフェミニズム批評で「D普遍化」されてはいないだろうか、と問い直している。それによって女性観についての「歴史性」が看過されてきたのではないか、自立心を示せない女性は「劣る」といえるのだろうか、と

カプランは問いかけている。この議論は、シャーロット・ブロンテが個人の苦しみや怨恨に囚われすぎて、本来の文学的な才能が発揮されていないと批判したヴァージニア・ウルフのフェミニズムを踏まえている。ブロンテが提示する強烈な「個」や、彼女が抱える「怒り」を乗り越えなければならぬと言ったのはウルフであった。しかし、ウルフ自身も、『ジェイン・エア』の想像力と共感力の側面を看過していることに留意する必要があるだろう。ジェイン・エアの親友ヘレン・バーンズの愛読書は、空想世界が入り混じったサミュエル・ジョンソン『ラセラス』であった。

ウルフがシャーロット・ブロンテの小説の書き方に批判的であったのは、彼女がヒロインの経験をいかにも「普遍的」「単一」であるかのように、あるいは「彼女が見たものを私たちにも見せようとする」力業で描いたと感じたからである。ウルフは『ジェイン・エア』を強烈な「個」や「怒り」を描いている作品として批判的に捉えていた。もしウルフにとって重要なのが、他者と共感する「多孔的」な女性的アイデンティティと男性的アイデンティティを併せ持つ両性具有的な性質を備えることであつたとすれば、ブロンテの小説にも、ジェインに手を差し伸べるヘレンを通じて「多孔性」は描かれていたともいえる。ただ、ブロンテは「あえて」ジェインを多孔的な自己像をもつヒロインとして描かなかったのだ。

その理由のひとつに、深く内面に入っていくナラティヴが、神経病の一種とみなされ、狂気の領域に及ぶ可能性を孕んでいたことが挙げられる。一九世紀の医学言説においては、過剰な想像力は精神病、すなわち狂気を疑われた。断定する理性の力は正常を意味し、留保する想像力——ときに空想力ともいわれた——は異常な精神を表した。ブロンテの同時代の医師アンドリュー・クームは、骨相学を広めるのに寄与した人物で、精神医学にも貢献した。クームが著書などで詳述している女性の「夢想」と「狂気」のむすびつきは当時あまりに流通したイメージであつたため、ブロンテは想像力が過剰であるヒロイン像を差し控えたと考えられる。

このように、文学とは時代に要請される「規範」との対話でもある。一八、一九世紀の医学言説を紐解けば、女性の〈身体〉がさまざまな言葉で表されてきたことが分かる。「無垢」「従順」「母性的」という伝統的な性規範に則つた女性たちは社会に承認され、その規範を逸脱するような過剰さを見せる女性は「ヒステリー」「狂気」「精神異常」という言葉で揶揄された。一九九〇年代以降は、オースティン、メアリ・ウルストンクラフト、ブロンテ姉妹といった世界的に知られる女性作家だけでなく、これまで脚光を浴びてこなかった、より知名度の低いシャーロット・レノックス、シャーロット・スミス、マライア・エッジワースといった女性作家による文学作品やエッセイが再評価されてきている。これらの作品には、必ずといってよいほど、精神に「異常」をきたしている、あるいは度を過ぎて「男らしい」女性が登場するが、これらの「過剰さ」が必ずしも賞賛されるわけではない。伝統的な性規範に則つた女性像とそこから逸脱する女性表象があり、共感の文化はちょうどその境界線にあるといつてよい。

ウルストンクラフト、シャーロット・スミス、マライア・エッジワースらが生きていたのはフランス革命期で、フランスでも、海峡を越えたイギリスでも、保守思想と急進思想がそれぞれの「善」を掲げて論争を繰り返していた時代である。急進派のウルストンクラフトと保守派のエドマンド・バークは、それぞれ反対の陣営に属し、互いに相手が定義する「善」を批判し合っていた。しかし興味深いことに、フランス革命直後の暴力の「過剰さ」について意見は一致していた。メアリ・ウルストンクラフトは、一七九二年、ルイ一六世がまさにギロチンで処刑されようとしている混乱期にジャーナリストとしてパリにいた。ロベスピエールの考える「善」が過剰になっていく状況を彼女は自分の目で見て恐怖を感じていた。当初フラン

ス革命に賛同していたウルストンクラフトも、実際にE過剰な「善」がふるう暴力性を直視して、この価値を留保する必要を感じた。急進思想家が保守思想を支持するのは、過剰を批判するからであり、そのことはウルストンクラフトの『フランス革命の起源及び発展に関する歴史的・道徳的考察』(1794)からも見て取れる。

このような宙ぶりの議論は、ハンナ・アーレントの「絶対善は絶対悪より危険が少なくはない」という主張と重なり合う。より具体的には、國分功一郎の『中動態の世界——意志と責任の考古学』が展開する優れた議論を参照されたい。「善」がなんであるかを狭い視野で決めつけること、それが過剰になり他者を抑圧するという暴力に発展しうること、これらが危険であると警鐘を鳴らしたアーレントの立場について、國分は明快に論じている。アーレントは、「他人とともに苦悩する同情の感情こそ徳であり善」で「逆に利己主義こそ社会がもたらした悪徳であり悪である」というロベスピエールの「確信」に根本的な異議を呈した。そして、『中動態の世界』で紹介されているアーレントによるメルヴィル『ビリー・バッド』の読み解きにおいても、主人公ビリーの「過剰な善」がいかに暴力的であるかが示されている。受動と能動の対立の外にある〈中動態〉という概念は、「正しい答え」を留保しようとするキーツの〈ネガティブ・ケイパビリティ〉とも響き合うのではないだろうか。

ロマン派詩人のサミュエル・テイラー・コウルリッジのお気に入りの比喩を用いるとすれば、ケアとは、「人の精神は羅針盤であり、外界のすべての本質的なものの法則や働きは、その針のぶれとして示される」、そういう心の状態をじっくり見極めることである。「ケアの倫理」は与えられたシチュエーションにおいて人間がいかなる葛藤を感じ、そこからどのように行動するかについて考えていく方法論である。コウルリッジの言葉にも〈中動態〉に通じる精神が宿っている。

私たちが何を行い、何を知るにせよ、動物と種類を異にするものはすべて、それ自身を信じ、信頼するという理性の決断を源としています。このこと、すなわち信じるという理性の最初の行為は、それ自身が在ることと、ほとんど同じことなのです。

ここで言及される「理性」とは、一般的に理解される理性とは異なり、感受性や想像力を含むものである。彼にとって人間の精神活動とは、「在ること」と、そして動態的なもの、すなわち〈生〉の営為そのものである。

この序章では、筆者がケアの倫理論と出会うまでの経緯と、文学作品のなかに描かれる〈ケア〉こそが、他者を阻害し、犠牲にしてまでも「自立した個」の重要性を掲げる近現代社会が軽視してきた価値ではないかという問いを提示した。強さと弱さ、理性と共感、あるいは自立型の自己と依存型の自己のあいだに、いまだ言語化されない不可視のものを見出すことはできないだろうか。

(小川公代『ケアの倫理とエンパワメント』一部改変)

問1 傍線部(ア)～(エ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

1

4

1 (ア) タンサク

- ① クラスの課題を解決するために、様々な方法をカクサクする。
- ② 調べたい文字があれば、辞書のサクインを使おう。
- ③ 被験者は、ムサクイに選ぶ必要がある。
- ④ 人のやる気を利用して、ただで仕事をさせることを「やりがいサクシユ」と言う。
- ⑤ 親に志望校に出す履歴書をテンサクしてもらった。

2 (イ) シサ

- ① 将棋のシナン書を読む。
- ② 誰かにカンシされている気がする。
- ③ 今月の銀行のシュウシが合わない。
- ④ 本人のシシツを考えて、助言すべきだ。
- ⑤ 改善すべき点があれば、ゴキョウジいただけるとありがたい。

3 (ウ) タンシヨ

- ① 木のセンタン部分を切ると、うまくいく。
- ② この動物は、危険をタンチする能力が優れている。
- ③ この魚は、タンスイにしか住めない。
- ④ この工事は、効果の割りに作業のフタンが大きいのでやめた方がよい。
- ⑤ この文章をタンラク的な意味にとらえてはならない。

4

(エ) キハク

- ① ジギを見て、話した方が君の思いが伝わると思う。
- ② キタイに胸を膨らませて、入社する。
- ③ オリンピックで活躍した選手が、コンキ限りで引退するそうだ。
- ④ 会場は選手たちのキハクで熱気に満ちていた。
- ⑤ 人生において、夢やキボウほど大切なものはない。

問2

傍線部A「ネガティブ・ケイパビリティ」の意味とは最も異なる選択肢を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

5

- ① 問題を留保すること。
- ② 結論を棚上げにすること。
- ③ 何かを達成すること。
- ④ 他者の気持ちを理解すること。
- ⑤ 相手の気持ちに寄り添うこと。

問3

傍線部B「多孔的な自己」に最も近い人物像を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

6

- ① はつきりと自分の意見を言える人
- ② 自分の進路を自分で決めることができる人
- ③ ささいなことに幸せを感じられる人
- ④ 両性具有的な性質をもつ人
- ⑤ 責任感をもって他人のケアができる人

問 4 空欄Cに当てはまる最も適当な四字熟語を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 7

- ① 再三再四
- ② 四角四面
- ③ 五臟六腑
- ④ 四方八方
- ⑤ 十中八九

問 5 傍線部D「普遍化」の文中の意味と反対の意味をもつと考えられる最も適当な語句を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 8

- ① 歴史化
- ② 一般化
- ③ 単一化
- ④ 自立化
- ⑤ 言語化

問 6 傍線部E「過剰な『善』がふるう暴力性」に対して、筆者が最も望ましいと考えているであろう行動を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 9

- ① 善の存在を否定すること。
- ② 絶対善や絶対悪について、自分の頭で考えること。
- ③ 時々の状況に応じた善を考えること。
- ④ 過剰な善から暴力性をなくすこと。
- ⑤ フランス革命に見られた善に関する論争に着目すること。

問 7

解答番号は

10

- 本文の内容に最も近いものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。
- ① 人と生きていくためには、知性や論理的思考が重要である。
- ② ケアを行うためには、自己を確立しなければならない。
- ③ 他者理解においては、「正しさ」や「善」は必要ない。
- ④ 男性／女性などの境界線を行き来する感情に着目すべきである。
- ⑤ 近代社会において強調されてきた「自立した個」は失くしていくべきである。

第2問 次の【文章】と【資料】を読んで、後の問い（問1～7）に答えよ。

【文章】

「悪事を働くと、その災いが行為者に生じる」という考えを内在的正義といいます。これはA公正世界信念 (belief in a just world)、つまり「世界は公正であり、人はそれぞれに見合った賞罰を受ける」という信念のひとつです。

私たちが生きている世界は不条理に満ちており、何の前触れもなく事件や事故に巻き込まれたり、不治の病に侵されたりすることがあります。

a ()、正しく行動していればいつかは報われ、悪事は罰せられると信じることで、世界は予測可能なだから大丈夫だと安心することができま

す。b ()、公正世界信念には私たちの心を安定させる機能があると考えられています。

内在的正義を幼児期の道徳的判断の特徴としたのが、ピアジェです。その根拠として、ピアジェは「果樹園でリンゴを盗ったら警察官に見つかり、あわてて逃げ帰る途中で腐った橋から落ちた」といった話に対して、児童期半ばまでの子どもが「リンゴを盗ったから橋が壊れた」などと説明することをあげています。

幼児が内在的正義に (ア) イキョウすることは、病気の原因について考えるときにも認められています。1980年代に行われた研究では、風邪をひいたのは「お母さんのいいつけを守らなかったから」とする考え方を、4歳児の約80%、5歳児の約50%が肯定しました。しかし、7歳児では10%弱、9歳児では0%と、児童期に入るとこの考え方は否定されるようになります。病気の原因を過去の悪事にあると考えることは非科学的であり、以上の結果は、幼児期の思考の未熟さを反映したものとされたのです。

c ()

イギリスの発達心理学者シーガル(M. Siegal)は、内在的正義について「あなたは思う？」と子どもの考え方を聞くのではなく、内在的正義を他者(ペット)のアイデアとして提示し、それを評価してもらう方法をとりました。

子どもは自身の方考え方を聞かれると、社会的プレッシャーから「自分が評価されている、大人に気に入ってもらえる答えを出さないと」となどと付度し、本来の力を(イ)ハッキリできないというのです。シーガルは病気にかかったペットが「同じ病気にかかった友だちと遊んだから(病気がなった)」と説明する場面(感染)と、「使つてはいけないといわれていたハサミで遊んだから」と説明する場面(内在的正義)を演じてみせ、「ペットがいっていることは、正しいと思う？」と質問しました。その結果、病気が風邪だった場合、4～5歳児の約70%が内在的正義を否定し、感染を肯定したのです。

(中略)

幼児は病気のほかの側面については、どの程度のことを理解しているのでしょうか。

病気には伝染するものとしませんが、この区別は幼児期にはまだ明瞭ではありません。

2019年末から世界的な感染爆発を引き起こした新型コロナウイルス感染症やインフルエンザは伝染性ですが、同様の咳症状を引き起こす喘息は伝染する病気ではありません。歯痛も伝染しませんが、4〜5歳児の約半数は「虫歯の友だちと遊んだから、自分も虫歯になる」という考えを肯定することが示されています。しかし、こうした判断は小学3年生になると、ほとんどみられなくなります。

同様の発達の変化は風邪とがんを取り上げた研究でも認められています。5歳児と7歳児は、風邪もがんも「病気の人の咳がかかった」「病気の友だちと遊んだ」ことが原因で同じ病気にかかるかもしれないと答える傾向にありますが、10歳児は、風邪は伝染してもがんは伝染しないと判断するようになります。ただし4歳児でも病気とケガは区別しており、ケガは外部の力など物理的な原因によるものの、病気は身体内部に原因があると区別していることが示されています。

幼児は潜伏期間についても十分に理解しているとはいえません。病気を引き起こす細菌やウイルスは、身体内部に取り込まれたとしても、すぐに病気を発症させるわけではありません。たとえば、汚染された牡蠣を食べても、すぐに気持ちが悪くなったり吐いたりしませんね。しかし3〜5歳児の多くは、汚染された食べ物を食べるとすぐに情動反応(悲しくなる)だけでなく、身体反応(病気になる)も生じると答える傾向にあります。ただし潜伏期間については、小学生でも十分に理解しているとはいえません。小学1〜6年生のほとんどが、細菌・ウイルスとの(ウ)セシヨクから病気の発症までに時間がかかること、その間に細菌・ウイルスが身体内部で増殖することを知らなかったという報告があります。

日本の大学生と中高年者(48〜69歳)も、その大半が「食中毒の発症までになぜ時間がかかるのか」を「消化・吸収に時間がかかるから」と説明します。しかしこれは誤った理解であり、消化・吸収に時間がかかるからではなく、細菌・ウイルスの増殖に時間がかかるからです。病気に関する幼児の理解は確かに脆弱ですが、長期にわたって学校教育を受けた大人でも、その理解は盤石ではないのです。

(中略)

大人になったからといって、論理的で科学的な理解をもつようになるわけではありません。ピアジェは内在的正義を幼児期の未熟な思考を特徴づけるものとしたましたが、内在的正義は、歴史をたどれば特段、不思議な考え方ともいえません。

近代医学が誕生する以前は、世界の多くの文化において、感染症の流行は人間の不道德な行いに対する罰と考えられ、神々の怒りを鎮めるために大規模な祈禱が行われたり、身体に苦痛を与えて悪魔を追い出す治療法がとられてきました。近年の研究では、病気に関するこうした魔術的な考え方が過去の(エ)イブツとはいえないことが明らかになっています。

B南アフリカで行われた研究を紹介しましょう。ヨハネスブルグ郊外に住む5〜15歳児と大人(29〜51歳)を対象として、HIVにかかった理由として、(a)血液媒介説(病気の人が使ったカミソリで手を切った)、(b)伝染説(病気の人と遊んだ)、(c)内在的正義説(お母さんに嘘をついた)、(d)魔術説(嫉妬している隣人に魔術をかけられた)といった説明を提示し、それぞれを肯定するか判断を求めました。(中略)各説明を肯定した場合、1点が与えられましたが、課題は4つあったので、得点の最大値は4点となります。

血液媒介説はどの年齢グループでも高得点であること、内在的正義説は年齢があがるとともに得点が低下すること、魔術説は5歳児グループから15歳児グループにかけて低下するものの大人になると上昇するというU字形曲線を描くことがわかりました。HIVの場合、血液媒介説が科学的には正しい説明ですが、この理解は年齢にかかわらず認められています。興味深いことに、大人では、最も科学的な血液媒介説の得点と最も科学的とはいえない魔術説の得点がほぼ同程度となりました。

この研究で対象とした地域では、学校教育を受けた期間が人によってまちまちでした。この研究が実施された2005年時点において、大人の8%は学校教育経験がなく、12年間の学校教育を受けた人は28%だったということです。そこで、学校教育を受けた期間の長さ判断の関連性についても検討されましたが、学校教育期間が長い人ほど血液媒介説を肯定し、魔術説を否定したという結果は示されませんでした。学校では科学的な知識を教えますが、科学的な知識に触れる機会が多くても、科学と相いれない信念が駆逐されるわけではないのです。

（外山紀子・中島伸子『乳幼児は世界をどう理解しているのか』一部改変）

【資料】

「感染は自業自得」と考える人の特徴は何か

～非常時における政府の行動制限に賛成する人ほど、「新型コロナ感染は自業自得」と考えていた～

研究の背景

新型コロナ感染症の流行以降、新型コロナに感染した人に対する差別的な言動や、特定の職業に対する偏見の顕在化などの問題が生じました。また、とくに流行早期には、外出や営業などに関する行政からの自粛要請に応じない人や店などに対し、私的な取り締まりを行う（いわば「自粛警察」）といった行動が見られました。このような社会的状況下において、本研究グループは、新型コロナ感染を自業自得と思う割合が、日本において他国より高いことを示してきました（三浦ら、科学、90(10)、pp. 906-908、2020）。しかしながら、新型コロナ感染を自業自得と思う人の特徴は検討されていませんでした。そこで、本研究では、こうした人たちの特徴を2020年8月時点の調査結果を用いて解析しました。

研究の内容

新型コロナ感染を自業自得と思うかどうかを問う質問項目は、「内在的公正世界信念」という概念に基づいて作成されたものです。内在的公正世界信念の強さは、ある被害の原因を被害者のせいだと考えたり、被害者を罰しようとしたりする傾向と関連があります。こうした傾向を、どのような人が持ち合わせているのかを知るために、2020年8月7-8日に、日本全国の一般市民1207名を対象に実施したオンライン調査（20-69歳）のデータを用いて分析を行いました。

その結果、「新型コロナ感染を自業自得と思うこと」と最も強く関連するのは、「非常時における政府の行動制限に賛成すること」だとわかり、他者に対して強い規制を求める傾向と「自業自得」感情には関連があることが示されました。また、平均的な日本人が新型コロナに感染する可能性は低い、つまり、新型コロナ感染がありふれた出来事ではないと考える人や、若年者や男性の方が、新型コロナ感染は自業自得と思う傾向がありましたが、その関連は弱いものでした。一方、回答者の居住地域、居住地域の人口密度、学歴、職業は関連しませんでした。

本研究成果が社会に与える影響(本研究成果の意義)

本研究では、新型コロナ感染症に関する偏見の課題解決にむけ、基盤となるような知見を提供できた点で意義があります。

新型コロナ感染症流行下では、差別や偏見といった社会的・心理的な問題も生じます。本研究では、新型コロナ感染を自業自得と見なす考えをする人にはどのような特徴があるかを明らかにすることに焦点を当てました。感染禍における差別、偏見がどのような原因で生じるのかを明らかにすることは、そうした状況においてウェルビーイング^(注1)を高める方法を考えたり、人々が何を正義と考えるかを探したりする上で重要です。本研究は、そのための基盤となる知見（手がかり）を得た、ということになります。

(出典：大阪大学・慶應義塾大学・広島修道大学、2022. 12. 19、

https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2022/20221219_2

設問の都合で内容を一部省略している。)

(注1) ウェルビーイング—個人の権利や自己実現が保証され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること（厚生労働省による定義）

問1 傍線部(ア)～(エ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

11

～

14

11

(ア)イキヨ

- ① イ|シヨクを共にする。
- ② ゴウイ|形成を行う。
- ③ ジンイ|的に引き起こされる。
- ④ 一週間イ|ナイに提出する。
- ⑤ イ|ゼンとして被害は続いている。

12

(イ)ハツキ

- ① 幼虫の頭部にあるトツキ|を調べる。
- ② キ|ハツ性の物質を扱う。
- ③ 列車のキ|テキを鳴らす。
- ④ キ|ブンが良い。
- ⑤ 上司のキ|ゲンを損ねる。

13

(ウ)セツシヨク

- ① 銃弾を浴びてジュンシヨク|する。
- ② 問題用紙のゴシヨク|を発見する。
- ③ 予算の増額にナンシヨク|を示す。
- ④ 友人の成功にシヨクハツ|された。
- ⑤ この種の議論にはシヨクシヨウ|している。

14 (エ) イブツ

- ① センイをほぐす。
- ② 仕事をイタクする。
- ③ イダイな人物であると認める。
- ④ イフの念を抱く。
- ⑤ イデン性の病気にかかる。

問2 傍線部A「公正世界信念(belief in a just world)」に近い意味をもつ格言やことわざの例として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 15

- ① 天網恢恢(てんもうかいかい)疎にして漏らさず
- ② 情けは人の為ならず
- ③ 早起きは三文の徳
- ④ 人事を尽くして天命を待つ
- ⑤ 人を呪わば穴二つ

問3 a()、b()に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は

16

- ① aそのため、bそして
- ② aそのため、bしたがって
- ③ aしかし、bまた
- ④ aしかし、bこのように
- ⑤ aそして、b言い換えると

問 4

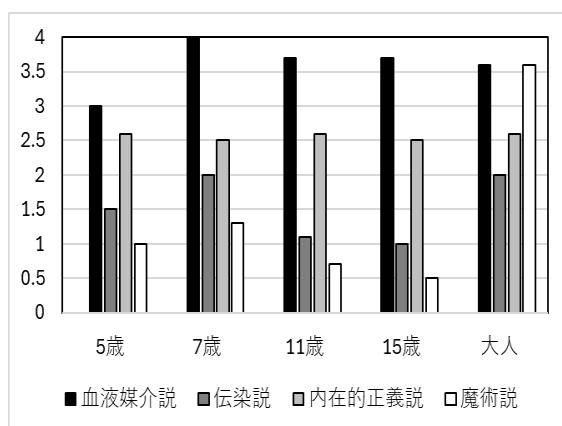
c () に当てはまる文章として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

17

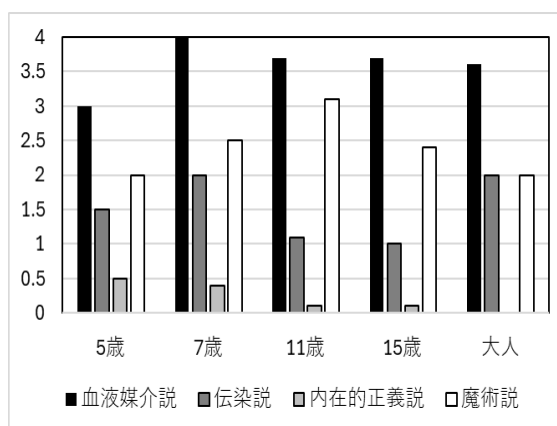
- ① ただしその後の研究では、質問の手續きを変えることで、幼児が必ずしも内在的正義を支持しないことも明らかになっています。
- ② しかし、1990年代以降は病氣の原因について幼児教育でも扱われるようになり、幼児の思考にも変化が生じています。
- ③ 1990年代に行われた研究では、こうした幼児期の思考の未熟さが何に由来するのか明らかにされました。
- ④ しかし、その後の研究手法の発展に伴い、幼児が内在的正義に基づいて思考するという仮説は否定されることになりました。
- ⑤ その後に行われた研究でも、やはり同様の結果が得られています。

問5 傍線部B「南アフリカで行われた研究」の結果をグラフに整理したものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。
 なお、グラフは設問の都合上、実際の研究から一部の情報を省略している。解答番号は

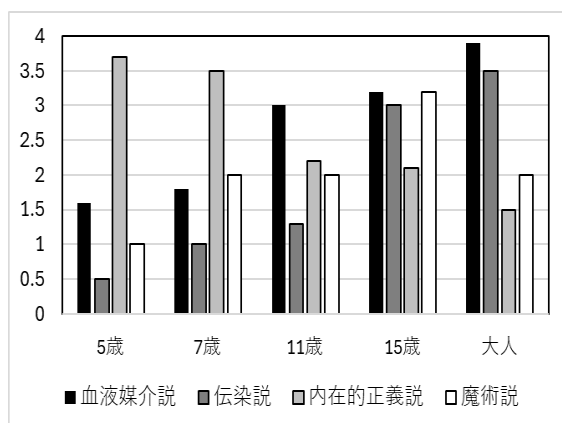
18



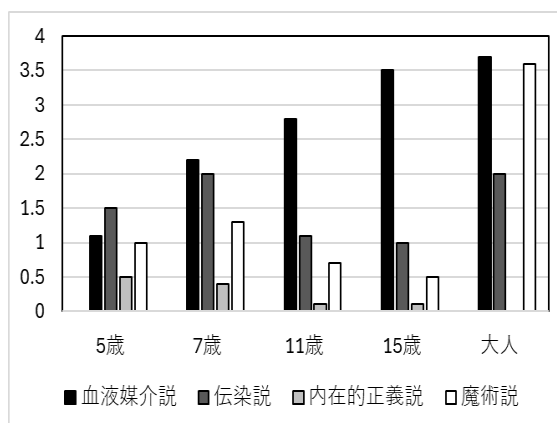
④



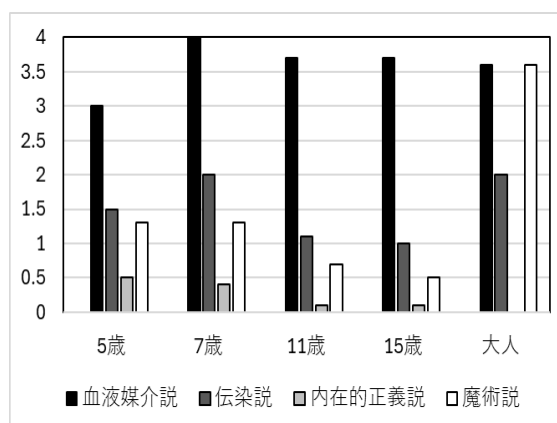
①



⑤



②



③

問6 【資料】の構成上の工夫に関する説明として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

19

- ① 研究を行う意義や研究結果を今後どのように生かしていくのかということまで示すことで、報告全体の説得力を高めている。
- ② 研究結果の提示に際して、重要な情報から示すことで、読者が結果を効率的に把握できるようにしている。
- ③ いわゆる起承転結の順番で文章展開していくことで、読者が分かりやすく内容を把握できるようにしている。
- ④ どのような調査手法で行われた研究であるか示すことで、研究結果の妥当性や信憑性を読者が判断できるようにしている。
- ⑤ 研究内容を端的に要約したタイトルをつけることで、読者が報告内容を予測できるようにしている。

問7 次に示すのは、【文章】と【資料】の内容について、5人の生徒が話し合っている場面である。文章と資料から読み取れる事柄を踏まえた発言

として、適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

20

- ① 生徒S「病気についての研究というと、病気の発症メカニズムや治療法、予防法などしか想像したことがなかったよ。今回読んだ【文章】と【資料】では、どちらも「内在的正義（内在的公正世界信念）」という概念がひとつのキーワードになっていて、私たちが病気をどのように理解しているのかという視点から検討されていることが共通していて、興味深いと感じたな。

- ② 生徒E「そうだね。【文章】で紹介されている複数の研究結果を踏まえると、子どもはもちろんのこと、大人だって必ずしも科学的に正しい病気の理解をしているわけではないということがよく分かったよ。この点は【資料】で示された研究でも前提になっていることだと思う。

- ③ 生徒I「私は、【文章】と【資料】で紹介されている研究の相違点に注目したよ。【文章】で紹介されている研究はどれも、病気に対する理解や考え方を明らかにすることに重点が置かれているのに対して、【資料】で行われている研究では、個人の病気への理解や考え方が、他人や社会に対してとる行動とどのように関係するかということまで意識されている点が異なると思ったわ。

- ④ 生徒Y「なるほど。僕はそれよりも【文章】と【資料】で示されていることを踏まえて、これからの社会に何が必要なのかということを考えさせられたよ。問題の解決策は、病気について科学的で正しい知識や考え方を伝える学校教育を充実させることだと思うな。

- ⑤ 生徒O「私は【文章】の最後に挙げられた研究結果を読んで、大人になるほど病気に対して非科学的な考えを抱くこともあるということが印象に残ったわ。今後は、病気の様々な側面について、私たちがどのような考えを抱いているのかについてさらに調べていくことが必要じゃないかしら。そうした研究もまた、【資料】の終わりにも書かれているように、差別や偏見、ウェルビーイングといった社会的問題に取り組むのに有益な知見を得ることにつながると思うわ。

2025 年度 一般選抜 I 期 国語「現代の国語」及び「言語文化（古文、漢文を除く）」

問題番号	設問		解答番号	正解
第 1 問	問 1	ア	1	2
		イ	2	5
		ウ	3	1
		エ	4	5
	問 2		5	3
	問 3		6	4
	問 4		7	4
	問 5		8	1
	問 6		9	3
	問 7		10	4
第 2 問	問 1	ア	11	5
		イ	12	2
		ウ	13	4
		エ	14	5
	問 2		15	4
	問 3		16	4
	問 4		17	1
	問 5		18	3
	問 6		19	3
	問 7		20	4